

# 携帯電話の電話番号数の拡大に向けた電気通信番号に係る制度等の在り方に関する当社意見

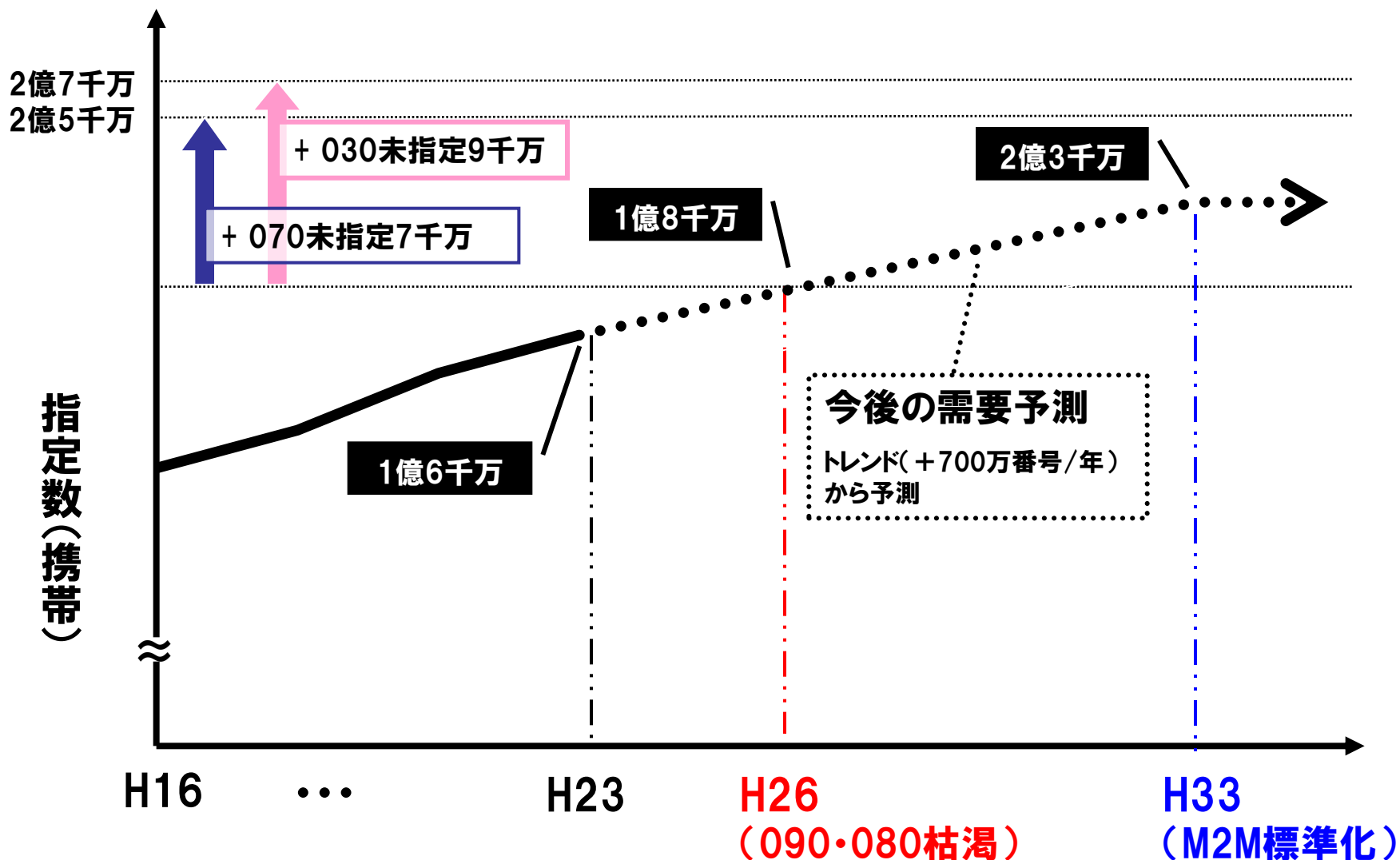
ソフトバンクモバイル株式会社

2011年7月11日

# (1) 携帯電話の電話番号の需要について

## ① 今後の需要

### ①-1 今後の携帯電話の電話番号の需要の伸びをどのように想定するか



①ー2 M2Mサービスについては、電話番号以外の識別子(IPアドレス等)の利用も想定されるが、携帯番号の電話番号を利用するM2Mサービスは、どのような性格のもので、どの程度の需要があると想定するか。

- M2M通信に携帯電話番号を使う必要性は薄く(顧客管理システムで使用)、番号枯渇の中、その使用は好ましくないと考えます。
- 今後、大幅な需要が見込まれるため、専用番号帯やIPアドレス等への移行が必要であるが、標準化動向に注目していくべきと考えます。

### M2M通信サービスの例



データカード



見守りカメラ



ゲーム機

**電話番号は必要ない！**

### ② 指定方法の見直し

②-1 各携帯電話事業者が公表している実際の解約率を用いるべきか、また、その際どのような影響が生じると考えるか。

実際の解約率を用いた場合、現行方式による試算よりも取得できる番号数が減るため、慎重に決めるべきと考えます。

#### 【影響】

- ・取得番号数減少による工事回数の増加
- ・販売手法／計画の見直し

また、弊社では予想を上回る需要により、現行方式でも対応できなくなった実績があるため、引き続き特例措置などを設けて対応していただきたいと思えます。

②-2 利用者保護の観点や、制度的課題又は携帯電話事業者間で取り組むべき課題等、留意すべき点はあるか。

NTT東西殿の工事期間の短縮と工事費用の低減化をして頂ければ上記の問題をもう少し軽減できると考えます。

#### ③-1 090-0を開放すべきか、また、その際どのような影響が生じると考えられるか

**開放しても良いと考えます。**

**ただし、090-0は1千万番号であり、抜本的な対策には至らないと考えます。**

#### ③-2 携帯電話事業者間で取り組むべき課題はあるか。携帯電話事業者以外の電気通信事業者のネットワークに対して与える影響やコスト負担等、留意すべき課題はあるか。

**軽微な改修、設定変更は発生しますが、ほぼ影響はありません。**

#### ③-3 利用者保護の観点や制度的課題等、留意すべき点はあるか。

**090-0の携帯利用によって、それが携帯サービスか着課金サービスか、ユーザーが誤認しないようにすべきと考えます。**

## ④070番号帯の利用

④-1 070番号帯を開放すべきか、また、その際、どのような影響(メリット・デメリット)が生じると考えるか。

開放すべきと考えます。影響に関する考察は以下です。

### 考察1 【比較】携帯電話とPHS番号による識別の有無

過去 PHSサービス開始時

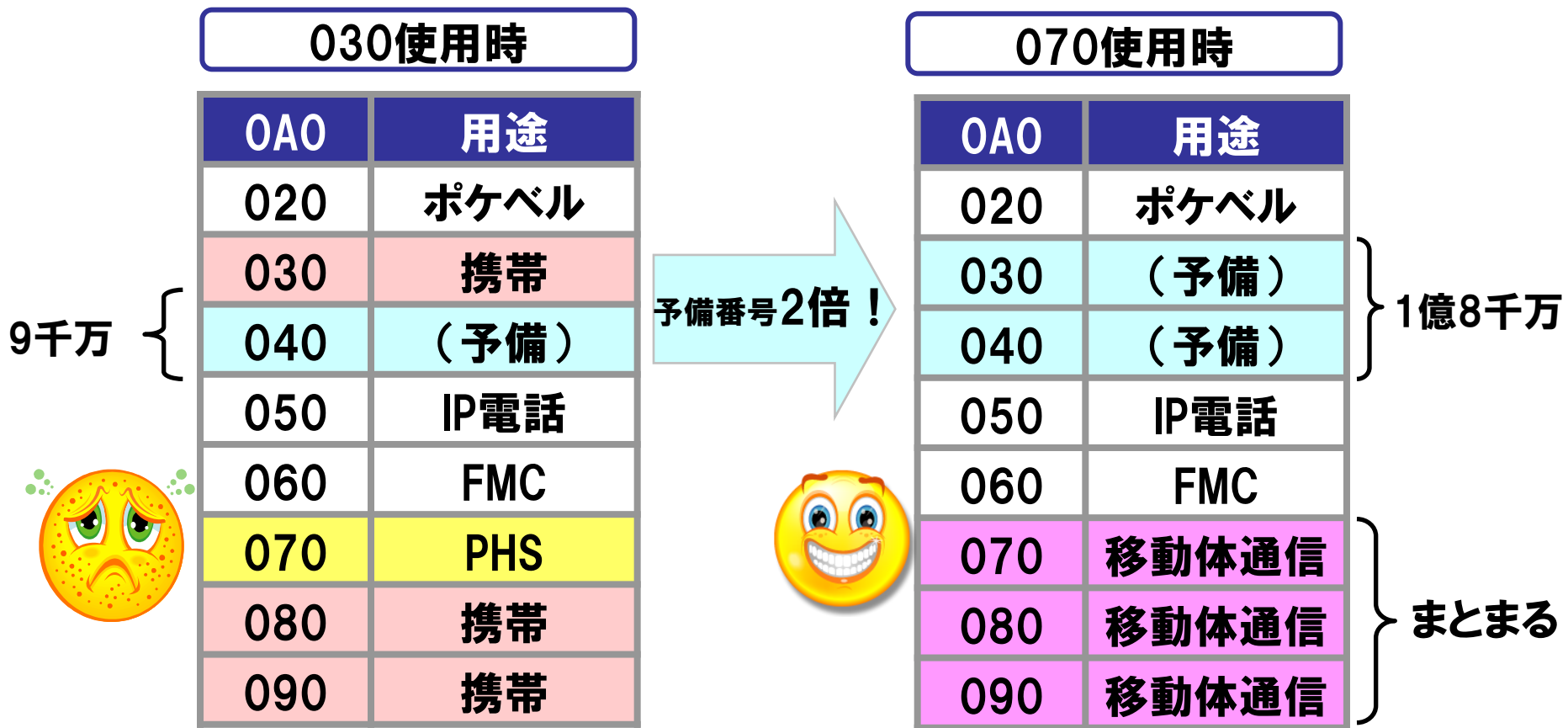
音声品質	料金	サービス
不要 ほぼ同等	必要 携帯間・PHS間によって料金が異なる	やや必要 通信速度・移動中の利用・カバーエリアに多少の差

識別の必要性が低下

現在～

音声品質	料金	サービス
不要 ほぼ同等	ほぼ不要 料金プラン多様化により 携帯・PHSによる差はない	不要 ほぼ同等

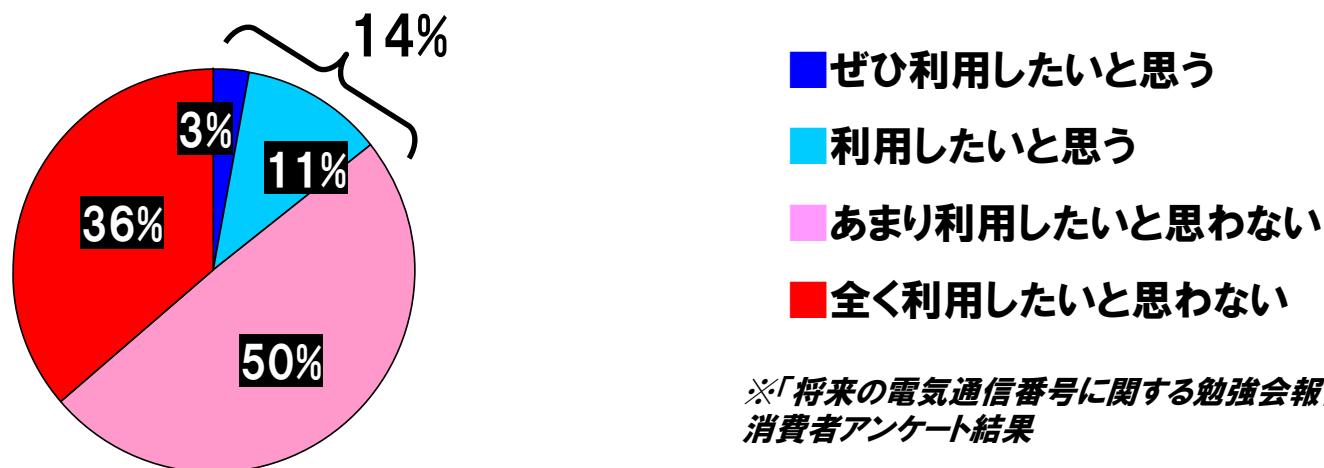
PHS-PHS間の無料通話に影響が？  
⇒呼び出し音に工夫を施せば問題ない



- ◆連番使用により移動体通信番号だと認識しやすい
- ◆予備0A0番号空間の有効利用

ユーザー要望

現在使用している携帯番号はそのまま、携帯電話を解約してPHSを利用したいと思いますか



携帯ユーザーの**14%**が要望

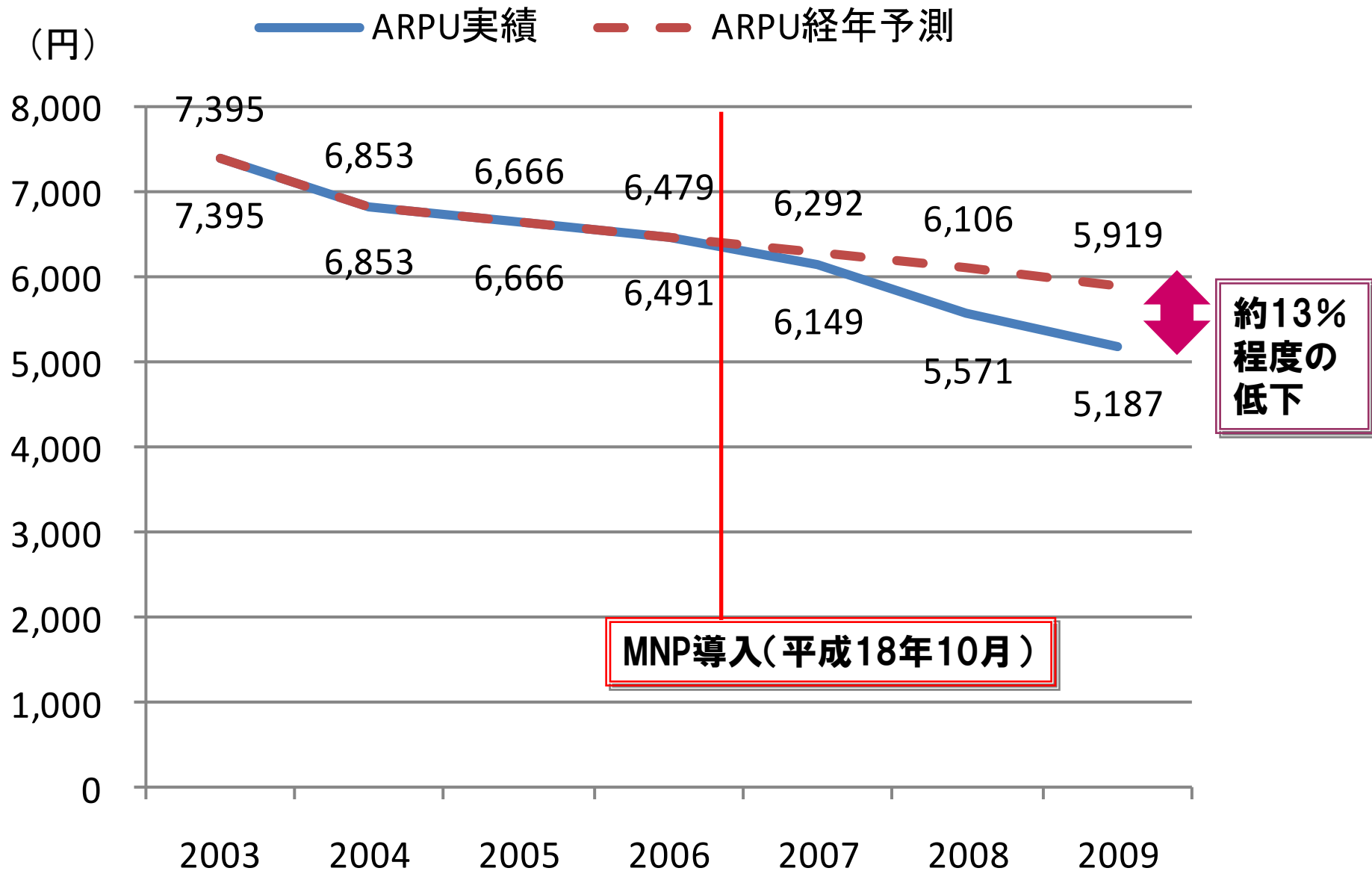
※携帯間のMNP利用実績:2割程度

- ◆ユーザー利便性向上
- ◆市場の活性化



# 日本における携帯電話料金(ARPU)の変化

SoftBank



出典:総務省「将来の電気通信番号に関する勉強会資料」

**④-2 070番号帯と携帯電話でも利用することによって、利用者に対してサービス提供や料金面等においてどのような影響が生じるか。また、当該影響を改善するためにはどのような手段が考えられるか。**

**番号による料金の識別は必要ないと考えておりますが、PHS-PHS間の無料通話など、影響が考えられる部分については呼び出し音に工夫をするなど、現状の携帯電話サービスでも通常に実施しているような仕組みでカバーできると考えております。**

**④-3 携帯電話事業者間で取り組むべき課題はあるか。携帯電話事業者以外の電気通信事業者のネットワークに対して与える影響やコスト負担の課題等はあるか。**

**番号によってサービスを識別している事業者においては、改修が必要であると考えます。**

**なお、ソフトバンクテレコムにおいては、新しい番号によるMNPを許容していないため、いずれにしても改修が必要となります。**

**④-4 制度的観点から留意すべき課題等はあるか。**

**特にありません。**

**④ー5 携帯電話の電話番号として070番号帯を利用することで、当該付加サービスにどのような影響が生じるか。また、当該影響を改善するための手段としてどのようなものが考えられるか。**

**特段の影響はないと考えられます。**

**④ー6 携帯電話事業者間で取り組むべき課題はあるか。携帯電話事業者以外の電気通信事業者のネットワークに対して与える影響やコスト負担の課題等はあるか。**

**特段の影響はないと考えられます。**

## ⑤M2Mサービスにおける番号利用

⑤-1 M2Mサービスについては専用電話番号帯を設け、電話番号の桁数を増やして利用すべきか、また、その際、どのような影響が生じると考えるか。

電話番号の桁増は過去の経験より、大幅な設備改修が必要となる為、回避すべきと考えます。詳細については調査中です。



M2M通信における携帯電話番号は・・・

- 顧客情報管理に使用しているケースが大半
- ルーティングには不要（IMSI、メールアドレスを利用）一部例外有り

今後、M2M通信市場規模拡大の予測がある

（2015年世界の携帯M2M市場 38億ドルへ 米国市場調査会社 ABIリサーチ）

今後検討すべき点

◆M2M通信にも電話番号利用を継続すべきか

⇒顧客情報管理システムの改修が必要

⇒電話番号の桁増対応に比べ、コスト、時間ともに影響は小さいと推測させる

**⑤-2 携帯電話事業者間で取り組むべき課題はあるか。携帯電話事業者以外の電気通信事業者のネットワークに対して与える影響やコスト負担の課題等はあるか。**

**携帯電話事業者以外の事業者においては、特段の影響はないと考えられます。**

**⑤-3 利用者に与える影響や制度的観点から留意すべき課題等はあるか。**

**特にありません。**

## ⑥その他ひっ迫対策

⑥-1 現在の携帯電話の電話番号である090番号帯・080番号帯(0A0番号帯)とは異なる番号体系となる0A1番号帯については、固定電話に利用されているものがあるが、携帯電話の電話番号数の拡大のために利用すべきか、また、その際、どのような影響が生じると考えられるか。

0ABJ番号との混乱が考えられるため、利用すべきではないと考えます。

⑥-2 その他、携帯電話の電話番号数の拡大のための対策はあるか。また、その対策が望ましいといえる根拠は何か。

特にありません。

⑦-1 携帯電話とPHSとの番号ポータビリティを導入すべきか、また、PHSの電話番号として090番号帯・080番号帯を利用することが可能となるが、その際、どのような影響(メリット・デメリット)が生じると考えられるか。

**導入すべきと考えます。**

**【メリット】**

- ユーザーは携帯・PHSを自由に選択することができます。
- ユーザーの選択自由度を高めることで、携帯電話・PHSの市場の活性化も期待できます。

(④-1考察3 参照)

**【デメリット】**

- 事業者のコスト負担が大きいことが予想されます。(特にPHS)

⑦-2 携帯電話とPHSとの番号ポータビリティを導入するにあたり、各電気通信事業者のネットワークにおいて、どのような改修が見込まれるか。また、当該改修に必要なコスト負担方法についてどのように考えるか。

**携帯事業者においてSMSのシステムに改修が必要です。**

**他事業者において番号判別をしている場合は事業者コード判別に改修が必要です。**

**EA様が参入された程度の影響と考えております。**

**コスト負担については、どのようなシステムを構築するかにより、負担方法は異なると考えます。**

**⑦-3 携帯電話とPHSとの番号ポータビリティについては、利用者利便の向上の観点からは早期実現が望まれるところ、当該ポータビリティの実現時期についてどのように考えられるか。また、早期実現のための方法としてどのような方法が考えられるか。**

**MNP導入時の実績から、約1年半～2年程度は必要と考えます。**

**⑦-4 携帯電話とPHSとの番号ポータビリティを導入することによって、利用者に対するサービス提供や料金面においてどのような影響(メリット・デメリット)が生じるか。また、デメリットがあるとするれば、当該デメリットを改善するための方法としてどのようなものが考えられるか。**

**市場活性化により、サービスの向上・料金の低廉化が考えられます。**

**(④-1考察3、⑦-1参照)**

**⑦-5 携帯電話とPHSとの番号ポータビリティを導入する場合、全携帯事業者及びPHS事業者間で番号ポータビリティを可能とすることが、利用者ニーズに依るものであると考えると、電気通信事業者間の競争や制度的観点から留意すべき点はあるか。**

**特にありません。**



**⑧-1 第一種指定電気通信設備との網間信号接続において、他の電気通信事業者の網を介した間接接続を認めることについて、どのように考えるか。**

**特段のデメリットは存在しないため、賛成します。**

**⑧-2 他の電気通信事業者の網を介した接続によって、ネットワークへの影響(品質劣化、遅延発生、緊急通報の取扱い等)は生じるか。**

**現行の技術基準を満たした上での提供であれば特に問題は生じないと考えております。**

**⑧-3 その他、他の電気通信事業者の網を経由した接続形態によって生じるメリット・デメリットについて、どのように考えるか。**

**第一種指定電気通信設備とのPOI構築において、維持費用の軽減に繋がると考えております。ひいては競争力の向上、サービスの充実に繋がるのではないのでしょうか。**